

教育民生常任委員会報告書

議長	事務局長	次長	書記
			

会議日時	令和3年12月9日(木) 午前9時30分～午前12時			
会議場所	○議員控室 ☒ 委員会室 ○議会図書室 ○その他()			
出席者数	委員 5名のうち出席者 5名			
出席委員	委員長	古谷 幹夫	委員	田邊 哲夫
	副委員長	武田 秀義	委員	堀本 伸一
	委員	水間 淳一		
説明者	生涯学習課	課長 林 瑞穂		
付議事件	1. 陳情第3－7号 保育所等の最低基準(職員配置・面積基準)と、保育士の処遇の抜本的な改善を求める意見書の提出を求める陳情書			
	2. その他			
審査・調査	1. 陳情審査			
	林生涯学習課長より、幼稚園と保育所の基準の比較「職員配置・施設整備等の資料に基づき、当地域の現状につき説明を受け、若干の質疑応答を実施。			
	その後、委員長が陳情の全文を読み上げてから審査を行なった。結論的には全員一致で採択することに決定。その理由としては以下の通り。			
	①本町においては当面、職員配置・面積基準をクリアーしているが、近年0歳児～1, 2歳児保育の需要が増加傾向にあり、中長期的には保育士の恒常的な不足状況が懸念される。			
	②中長期的な観点から保育環境の改善、職員の処遇改善を求める本陳情は採択に値するものである。			
	【委員の意見】			
	○本町では現状いずれの基準もクリアーしているが、中長期的な視点及び全国的な問題として捉えた時には本陳情の趣旨は理解できる。			
	○子供と密に係る現場での不安は相当なものだ。最低基準と保育士の処遇改善の要望には賛同できる。			
	○国に対する基本的な改善の要望はすべきである。			
	○本町の現状とは幾分温度差があるが、保育士の不足状況等を考慮し、国への改善を求める要望には賛同する。			
報告日	令和3年12月13日(月)	委員長署名	古谷 幹夫	